

令和8年8月13日

新規／

企画展「旅人がみた宮津・天橋立―参詣、そして近代観光地へ―」を開催

～旅人の眼差しから紐解く、「宮津」・「天橋立」の魅力～

明治41年(1908)、ドイツ人作家ベルンハルト・ケラーマンとスイス人画家カール・ヴァルザーは宮津を訪れ、その風景や文化に魅了されました。帰国後、両氏は著作を通じて宮津の魅力をヨーロッパへ紹介しています。宮津市では、令和8年度に東京及び大阪で開催されるカール・ヴァルザー展にあわせ、「ケラーマンとヴァルザーが愛した MIYAZU プログラム」を展開しています。本展示では、近世から近代にかけての「旅」をテーマに、様々な資料を通して旅人たちが見つめた宮津・天橋立の姿を紹介します。

つきましては、開催の告知及び展覧会の様子についてご協力をお願いいたします。

会 期

9月19日(土)から10月18日(日) 午前9時から午後5時

場 所

宮津市歴史資料館(みやづ歴史の館4階) 入館無料

内 容

(1) 展示の見どころ

近世の旅行ガイドである名所図「扶桑名所図(丹後国天橋立之図)」や、籠神社参詣を描いた松川龍椿筆「天橋立図」、幻に終わった明治26年の「宮津・舞鶴間鐵道実測図」など旅や交通に関する資料を多数展示します。また、ケラーマンが宮津をヨーロッパに紹介した『さっさよやっさ 日本の踊り』のドイツ語版なども展示します。

(2) 関連イベント

- ・「スイス絵画の異才 カール・ヴァルザー展 宮津サテライトパネル展」

会期：9月5日(土)から9月27日(日)

時間：午後10時から午後8時まで(月曜日は午後5時まで)

会場：浜町ギャラリー(宮津阪急ビル〈ミップル〉3階) 入場無料

※その他にも様々な関連イベントの開催を予定しています(詳細は順次HPで公開)。

その他

会期中は、宮津市歴史資料館の常設展示も同時公開。

【担当者のコメント】

近世から近代までの「旅」に関連する様々な資料を通じて宮津や天橋立の魅力を紹介します。会期中の関連イベントとあわせて、是非、足を運んでください。

お問い合わせ先

教育委員会事務局 / 社会教育課 / 文化財保護担当
TEL : 0772-45-1642

旅人がみた宮津・天橋立

—参詣、そして近代観光地へ—



展示の詳細は
コチラから

旅人たちの眼差しから紐解く、 「宮津」・「天橋立」の魅力

明治41年（1908）、ドイツ人作家ベルンハルト・ケラーマンとスイス人画家カール・ヴァルザーは宮津を訪れ、その美しい風景や豊かな文化に深く魅了されました。帰国後、二人は紀行文や絵画を通して宮津の魅力をヨーロッパへ紹介し、その記録は今日まで伝えられています。

宮津・天橋立は、古くから多くの旅人を迎えてきました。江戸時代には庶民の旅が盛んになり、歌に詠まれた名所を巡る旅や社寺参詣が広がると、天橋立や宮津城下町にも多くの人々が訪れて賑わいました。また、与謝蕪村をはじめとする文人が逗留し、地域の人々との交流の中から数多くの作品が生まれました。近代になると、天橋立の公園化や道路・鉄道など交通網の発達によって近代観光地へと発展しました。小室洗心や地元の文化人・郷土史家らとの交流を通して、与謝野寛・晶子夫妻をはじめとする多くの文人墨客がこの地を訪れ、新たな作品を残しています。

本展示では、近世から近代の「旅」をテーマに、紀行文や絵画、旅案内などを通して、旅人たちが見つめた宮津・天橋立の姿を紹介します。

関連事業

「スイス絵画の異才 カール・ヴァルザー展」 宮津サテライトパネル展

東京ステーションギャラリー、大阪中之島美術館の展覧会や、ヴァルザーの画業、宮津での足跡などをパネルで紹介。

会 期 9月5日（土）～9月27日（日）
午前10時から午後8時まで
（月曜日は午後5時まで）

会 場 浜町ギャラリー
（宮津阪急ビル〈ミップル〉3階）

料 金 入場無料

その他、様々なイベントを開催予定！詳しくは、特設サイト「旅と宮津」をチェック！



Ein Spaziergang in Japan（邦題：日本散策記）
〔清輝楼 蔵〕



宮津・舞鶴間鐵道路線実測図（明治26年9月）
〔宮津市教育委員会 蔵〕



扶桑名勝図（丹後国天橋立之図）
〔宮津市立図書館 蔵〕



京都丹後鉄道「宮津」駅から徒歩8分
京都縦貫自動車道「宮津天橋立IC」から車で約5分